

学校長挨拶

呉市立呉高等学校
校長 廣本 幸紀

本校は、昭和 34 年に県内初の家庭科の専門校として開校した広島県呉豊栄高等学校を前身とし、平成 10 年に、それまでの歴史や伝統を継承しつつ、一層柔軟で個別最適な教育システムをもつ、呉・東広島地域唯一の総合学科として、校名を呉市立呉高等学校と改め、地域に根付き、多くの有為の人材を送り出してきました。

この間、呉市立唯一の高等学校として、市民から愛される高等学校を目指し、多くの関係者の皆様の支援を得て、総合学科の特色を生かし、多彩な教育活動を展開しております。

本校は、平成 29 年度・30 年度と国立教育政策研究所教育課程研究センターから 2 箇年の教育課程研究事業（E S D）の指定を受け、持続可能な社会の構築に貢献するために、自立的に「考え」、行動する教育活動を展開するとともに、新しい時代に必要となる論理的・構造的思考力や問題解決力等の資質・能力の育成に継続して取り組んでいます。また、平成 30 年、創立 60 年の節目の年に、周年行事を開催するとともに、台湾の基隆市立安樂高級中學と姉妹校提携し、国際交流を積極的に行っています。

現在は、こうした取組をベースとして、E S D・SDG s の視点で、地域課題を発見し、その解決に貢献しようとする意識と、持続可能な社会の担い手として新たな価値を生み出す力を有する、心豊かでたくましい人材を育成すべく、地域社会課題解決型キャリア教育カリキュラムを展開しています。1 年次の「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」である 2 年次「フロンティアⅠ」、3 年次「フロンティアⅡ」を核とし、「呉学」をはじめ特色ある多くの選択科目を用意することで、これからも生徒の進路実現を図っていきます。

部活動では硬式野球部が 3 度目の甲子園出場に向け、新たな体制で伝統を進化させるために努力を重ねています。また、吹奏楽部が第 47 回全国高等学校総合文化祭に広島県代表として出場するなど、運動部・文化部ともに全国大会・中国大会といった上位大会を目標に、高い志をもって活動しております。

「高き夢をいだけ、そして君が夢みた君になれ」というスローガンのもと、全教職員が一丸となって、信頼される学校でありつづけるよう、そして生徒とともに新たな伝統を創造しつづけるよう努力してまいります。

今後とも地域の皆様、関係者の皆様には、変わらぬ厚い御支援・御声援をいただきますようお願いいたします。

令和 8 年 4 月